

～小児のインフルエンザ予防接種～

インフルエンザの予防接種は、小児の場合は、感染そのものを防ぐというよりは、インフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防することが目的といわれています（有効率 70～80%以上）。

月齢 6 ヶ月以上で接種は可能ですが、**0 歳児は接種しても発症率・合併症による入院率は変わらず**、また、**脳炎・脳症の合併症は 1 歳以上が多いので、家族が予防することをおすすめします。**

1 歳を過ぎると脳炎・脳症の合併症リスクが増えるため、少しでも減らすためには予防接種をおすすめします。

日本では基本的に 13 歳未満は 2 回接種です。10 月に 1 回目、3-4 週間以上あけて 11 月に 2 回目接種をしておくと 12 月に流行しても間に合います。2 回目接種後から効果がでる（抗体があがる）までに 2-3 週間かかるためです。



卵アレルギーのある人には接種できないのでは？という質問が多いですが、鶏卵成分はごく微量で、ほとんど問題はありません。接種について不安のある方はご相談下さい。



*インフルエンザについては **HP のインフルエンザの項 (No.25)** もご参照ください！